

— 城のある都市復活!! —

# 福岡城だより

2010年7月  
NO.26



黒田長政像 (福岡市博物館所蔵)

韓国「機張倭城」(黒田長政築城) 釜山広域市機張郡

写真提供：北部九州中近世城郭研究会 中村修身氏

## 甦れ!! 福岡城

NPO法人鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

事務局長 岡部 定一郎



「福岡城築城四百年」・「鴻臚館発掘作業」を記念して、本格的に、福岡城跡をどのよう

に復元検討して行くのか、私も平成十四年から参画し、全国の城郭研究、歴史学者、文部科学省・福岡市教育委員会各位の総合会議に出席し、足掛け四年、学術的な土地と将来性を見据えての基本構想が平成十七年三月に完成した。その間、平成十五年六月二十五日、黒田如水公(鼻祖)没四百年の記念大法要に併せて「福岡城」のキャンペーンを全市民にアピールしようとして、桑原敬一会长をして「福岡城四百年記念事業実行委員会」を結成した。その折の結成会員三百人余への会報紙として誕生したのが「お城だより」です。

それから七年、年四回の発刊を重ねて参りました。

常に鴻臚館よ、福岡城よ、平成の世に甦れと、数多くの年行事、学術的な勉強会や観光市民大学等中広く、多くの人々のご協力、ご参画を頂きながら現在に至っております。本年よりは特に、公官民財一体となって甦れ!!の呼びかけに動き出しました。どうぞ更なるご力添を伏してお願ひ申し上げます。



# 黒田如水長政親子の 戦跡を訪ねて!!

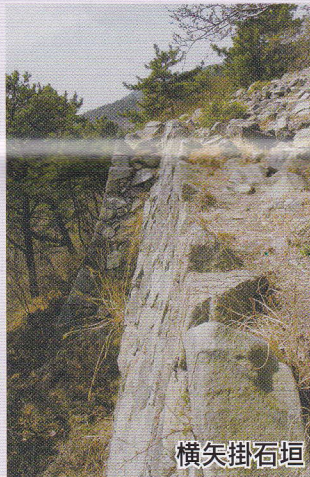
## 「文禄・慶長の役」 韓国倭城紀行

平成二十二年三月二十六～二十九日

豊臣秀吉は、天下統一が終わるや否や海外遠征を企てます。いわゆる七年間に及ぶ「文禄・慶長の役」の始まりです。文禄元年（一五九二）三月より総勢八軍団（隊）二十万人の大軍が一斉に玄界灘を渡海します。その時、北部九州の三武将が築き駐屯した、第一軍小西行長一万人の順天倭城、第二軍加藤清正二万一千人の西生浦倭城、第三軍黒田長政一万二千人の機張倭城を、北部九州中近世城郭研究会の中村修身会長の案内で、石垣の隅から隅まで見てまわりました。



順天倭城の天守台をバックに記念撮影  
(小西行長築造・駐屯)



横矢掛石垣



本丸の石垣

西生浦倭城  
(加藤清正築造・駐屯)

一方、海上においては、続々と渡海してくる日本軍の大船団を、地元  
の利を生かし知略と勇猛さにより打ち破った、朝鮮水軍・李舜臣將軍の

「亀甲船」の完全復元船を、韓国海軍・鎮海軍港で見学することができました。



亀甲船（韓国・鎮海軍港）



機張倭城本丸より日本海を見る

特に今回の現地探訪で黒田長政について知れたのは  
①難攻不落「普州城の攻防戦」の一番乗りは黒田長政隊であった。

②隊長自ら虎刈りをしたのは、黒田長政が最初であった。それも機張倭城周辺の深山渓谷に入り、虎を捜し出し長政愛用の銃で自ら仕留めた。



機張倭城本丸の石垣、下は二の丸  
(黒田長政築造・駐屯)

③有名な蔚山倭城で孤立無縁の加藤清正軍救援作戦の起草者であり、その先鋒をつとめたのは黒田長政であった。等々です。  
また、関ヶ原の戦いの翌年から、各大名が競って築城した近世城郭の石垣や築造技術は、この倭城築城の経験から生まれたのではないかと強く感じさせられました。それは現在私どもが見ている国内の城と今回の倭城が余りに良く似ているからです。



# 福岡城探訪

薄命の藩主

八代治高

九代斉隆

藤金之助



八代 黒田 治高  
八代 黒田 斉隆  
(福岡市博物館所蔵)



九代 黒田 斉隆

黒田治高の死は後継者が無く、三カ月間裏に秘められ、その間に六代藩主継高の娘が嫁でいた讃岐多度津藩主京極彦岐守高文の弟又八を養子に迎え、名を治高と改め、天明二年(一七八二年)二月、二十九歳で八代君主の座につく。

治高は五月一日に初めて福岡に入国するが六月末頃から病氣(浮腫)となり、八月二十一日死去する。奇しくも先代治高の死から丸一年目の同じ日であった。僅か半年の治世であった。墓は東長寺にある。

治高にも嗣子が無く、またも裏を秘して後継者を探し、一橋家の徳川

治高の二男で治高の甥にあたる雅之助を養子にする。名を斉隆と改め十二月十九日に九代藩主となる。まだ六歳の幼君である。

藩政は重臣たちによって行われたが、この時、幕府は福岡藩が代々武門の名誉として守ってきた「長崎警備御番」の役目を他藩に変更しようとした。このことに驚いた家老の久野外記が決死の覚悟で東上、幕府の要人に陳情し、これを取りやめ家老による代行を認めさせることに成功した。

斉隆は幼少のため暫くは一橋の屋敷に住んでいたが寛政二年(二七九〇年)に元服、三年後の寛政五年、一七歳になって初めて福岡入りをした。

斉隆は十一代將軍、家斉の弟であり、時の老中、松平定信が田安德川家の出ということもあり、幼い時からその薫陶を受けていた。当時最高の名門の出であり、賢明な青年君主であったが、残念ながら生来の虚弱体質であった。

寛政七年(一七九五年)四月十一日、江戸より帰国した斉隆は六月初

めから病氣(脚氣)となり、六月二十三日、十九歳の若さで死去する。墓は崇福寺にある。

福岡藩では七代治高の遺言で学問所設立を考えていたが、七代、八代と後継者問題でそれどころではなく、やっと天明三年(一七八三年)、儒臣の竹田定良と亀井南冥に東西学問所の設立を命ずる。

「藩士の多くが恥を知らず、心得違いをするのは稽古事を怠り、自由に暮らして人の筋道を知らぬことから起る。」

という趣旨でビシビシ鍛えてくれと云うことである。

翌年一月、竹田は大名町の上の橋に東の「修猷館」を、二月には亀井が唐人町に西の「甘棠館」を開所する。藩校なので入学資格は武士の子弟で十一歳からの義務教育と定めた。神官、医師の子弟も入学を許可された。

修猷館は貝原益軒と同じく朱子学派であったが、甘棠館では荻生徂徠の古典学派であった。寛政二年(二七九〇年)、幕府は朱子学以外を「異学」として禁じた。そのため藩では西学問所、甘棠館を廃止した。

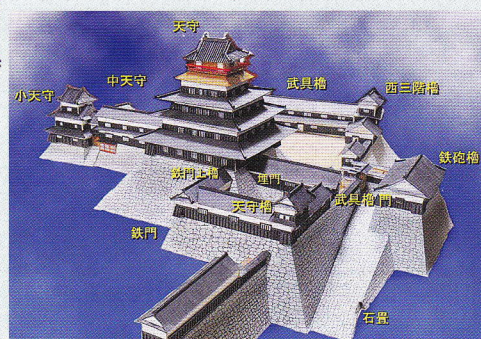
亀井南冥は「金印」でも名を残している。天明四年(一七八四年)二月二十三日、志賀島の百姓、甚兵衛が溝の中から金印を発見して藩に届けた。南冥はこれを「後漢書」の「東夷伝」にある「光武賜以印綬」と推定した。

## 郷土の歴史講演会

ふくおかの歴史を見直そう!

甦れ!福岡城

「近世の城はどうして生まれたか」



黒田如水・長政築造  
福岡城天守閣と天守曲輪の模型

日時

平成二十二年九月二十日(敬老の日)

受付開始 十二時半より

講演 午後一時〜午後四時

場所

読売新聞西部本社一階

「よみうりプラザ」

演題

一、福岡城と一夜城

二、読売新聞西部本社 池田和正氏

中世の城・韓国倭城・福岡城

北部九州中近世城郭研究会

会長 中村修身氏

三、福岡城本丸模型を見る

筑前城郭研究会作成の模型を自由見学

事前申込み(先着百二十名まで)

参加費

福岡市民の会の会員…無料

一般…三百円

参加申込み

福岡市民の会

TEL 092-716-8238

FAX 092-716-8254

「名前」と「電話番号」をご連絡ください。



# NPO 法人 福岡城市民の会 第6回総会開かれる

平成 22 年 6 月 8 日開催の第 6 回通常総会に於いて下記の事項が承認されました。

## 1. 平成 21 年度事業報告及び収支決算

### 【平成 21 年度事業報告】

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

#### 1 事業の実施

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化とその復元を目指し、イベント開催や研究・啓発事業など下記活動を積極的に実施した。

平成 21 年 11 月福岡城復元の為の「福岡城再建整備基金」の設立を福岡市に要望し、第一回の勉強会を本年 3 月 17 日に行い、今後福岡城本丸を整備することに関与して行きたい。

#### 2 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業 内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
イベント開催	観桜の宴	平成 21 年 4 月	福岡城跡	15 人	市民 50 人	458
イベント開催	観桜の宴	平成 22 年 3 月	福岡城跡	30 人	市民 700 人	322
イベント開催	どんたく舞台	5 月	福岡城跡	50 人	市民 6,800 人	5,967
イベント開催	観月の宴	10 月	福岡城跡	50 人	市民 4,000 人	4,780
研究・啓発	観桜の宴	8 回 / 年	福岡城跡	3×8 回	市民 40×8 回	0
研究・啓発	観桜の宴	7 月～11 月	福岡城跡	4×30 回	市民 100×30 回	799
委託事業	古代官道	8 月～3 月	福岡城内	30 人	市民 2,000 人	2,964
委託事業	機関紙発行	0 回	福岡城内	0 人	0 回	0
委託事業	機関紙発行	4 回	事務所	3,000 部×4 回	0 回	818

##### (2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 人数	支出額 (千円)
専金活動事業	個人・団体への募金活動	随時	随時	0 人	0

### 【平成 21 年度収益事業会計収支計算書】

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

NPO 法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

科 目	H21 年度実績	H22 年度計画
I 経常収入の部		
1 会費収入	2,219,000	2,500,000
2 事業収入		
イベント開催事業		
観桜の宴	340,500	100,000
どんたく演舞台	5,794,495	5,800,000
観月の宴	4,657,399	200,000
西日本新聞旅行企画	51,796	200,000
研究・啓発事業		
市民大学	989,000	1,200,000
古代官道	2,964,400	2,500,000
委託販売書籍	35,070	0
3 その他事業会計からの繰入		100,000
経常収入合計	17,051,660	12,600,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
イベント開催事業		
観桜の宴	806,771	100,000
どんたく演舞台	5,946,579	5,440,000
観月の宴	4,780,206	200,000
研究・啓発事業		
市民大学	798,735	800,000
古代官道	2,964,400	2,500,000
機関紙(福岡城だより)	818,011	700,000
委託販売書籍	26,208	0
2 管理費	1,402,356	2,260,000
3 予備費		600,000
経常支出合計	17,543,266	12,600,000
III その他資金収入の部		
1 受取利息	1,356	
2 雑収入	51,174	
その他資金収入合計	52,530	
当期収支差額	▲ 439,076	
前期繰越収支差額	3,580,041	3,140,965
次期繰越収支差額	3,140,965	3,140,965

## 2. 平成 22 年度事業計画及び収支予算

### 【平成 21 年度事業報告】

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

#### 1 事業実施の方針

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化とその復元を目指して、イベント開催や研究・啓発事業を積極的に行う。また、関係諸団体との連携を一層活発化し、鴻臚館・福岡城に対する市民の関心を深め、認識を更に新たにしていく。

そのため、「福岡城再建整備基金」の設立に深く関わり、福岡城本丸をまず整備することに関与して行きたい。また、本年度のイベント事業の「観月の宴」は従前より規模を縮小して実施する。

#### 2 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業 内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出見込額 (千円)
イベント開催	観桜の宴	3 月	福岡城跡	30 人	市民 200 人	100
イベント開催	どんたく舞台	5 月	福岡城跡	50 人	市民 15,000 人	5,440
イベント開催	観月の宴	10 月	福岡城跡	50 人	市民 4,000 人	200
研究・啓発	観桜の宴	8 回 / 年	福岡城内	3×8 回	市民 40×8 回	0
研究・啓発	観桜の宴	6 月～11 月	福岡城内	4×30 回	市民 100×30 回	800
委託事業	古代官道	8 月～3 月	福岡城内	30 人	市民 2,000 人	0
委託事業	機関紙発行	4 回	事務所	3,000 部×4 回	0 回	700

##### (2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 人数	支出額 (千円)
専金活動事業	個人・団体への募金活動	随時	随時	10 人	0

### 【貸借対照表(特定非営利活動に係る事業会計)】

平成 22 年 3 月 31 日現在

NPO 法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

科 目	H20 年度	H21 年度
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	53,130	36,523
普通預金	1,073,436	671,381
未収金	2,477,475	2,602,000
仮払金	25,000	0
流動資産合計	3,629,041	3,309,904
2 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計	3,629,041	3,309,904
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金	49,000	82,445
未払金	0	86,494
流動負債合計	49,000	168,939
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,632,380	3,580,041
当期正味財産増減額	947,661	▲ 439,076
正味財産合計	3,580,041	3,140,965
負債及び正味財産合計	3,629,041	3,309,904

## 総 会 報 告

NPO 法人鴻臚館・

福岡城跡歴史・観光・市民の会  
第六回通常総会報告

日時 平成 22 年 6 月 8 日(火)

14 時～15 時 30 分

場所 読売新聞西部本社 1 F

よみうりプラザ

### 審議事項

#### 第一号議案

平成 21 年度事業報告及び収支決算  
並びに監査報告

#### 第二号議案

平成 22 年度事業計画及び収支予算

#### 第三号議案

福岡城整備基金設立にむけての  
活動について

5 月 28 日(金)の決算理事会を経て総会が開催され、無事終了しましたことを会員の皆様にご報告いたします。

また、三号議案につきましては、理事長からの経過報告がなされ、「福岡城跡整備計画に係わる官民共働勉強会」が今年度中に四～五回開催される予定との事でした。今後の経過についてもご報告致します。



### 編集・発行:

鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

### 住所:

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15  
読売福岡ビル7階

TEL:092-716-8238

FAX:092-716-8254

### HPアドレス:

<http://fukuokajokorokan.nngo.jp/>

### E-mail:

fukuokajo@tos.bbq.jp

デザイン・印刷: S&Mトラスト株式会社

## 編集後記

今年も「どんたく福岡城演舞台」は盛況のべ15,000人)で終わり、理事会・総会も無事終了致しました。

休止していましたホームページが少しずつですが動き出しました。

### 福岡城市民の会

検索

でもご覧いただけます。

どんたくや総会の内容等も「活動報告」に掲載しています。「活動内容」を開くとカレンダーに行事や講演の案内もご覧頂けます。又、会の運営に多くの方々のご意見やご要望などを「お問い合わせ」の欄にてお寄せ下さい。

皆様のお声と共に前に進んでいきたいと願っています。

カイロミア老司  
(中原淳子)

NPO 法人豊前国  
観光ネットワーク  
花柳月須美会

小上 池原 玲子 子千 島野 美津子 井 迪 子

正会員(個人)

神金 柿梅 井池 麻 谷子 木野 手田 生 喜富 千代 乃吉 民 美士 隆江 範子 凜子 小黒 柳河 中杉 酒小 橋邊 村原 句池 瀨橋 邊 三治 雄 定正 重子 子彰 一寛 夫範 吉柳 米平 浜前 浜 村谷 田島 武田 崎 精英 純輝 久光 フ 二一 子子 子風 シ

一般会員(個人)

新規会員登録  
(平成 22 年 6 月 18 日現在)